

平成 31 年度

東京学芸大学 教職大学院
(教育学研究科教育実践専門職高度化専攻)

学 生 募 集 要 項

(第 2 次募集)



東京学芸大学

平成 30 年 12 月

平成31年度 教職大学院（教育学研究科 教育実践専門職高度化専攻）試験期日等日程

・一般選抜 ・現職教員選抜	入学願書受付期間	平成31年1月23日（水）～1月25日（金）※8頁参照
	試験期日	平成31年2月16日（土）
	合格発表	平成31年3月7日（木）
	入学手続日	平成31年3月18日（月）

入学資格審査申請期間 平成31年1月11日（金）～15日（火）

問い合わせ先

（注）問い合わせ受付時間は、平日の9時から17時まで（休憩時間12時から13時を除く）です。

- 「入学試験」に関する問い合わせ先

学務部入試課 〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 ☎042-329-7203

- 「カリキュラム, 履修基準, 教員免許取得方法等」に関する問い合わせ先

学務部学務課大学院室 〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 ☎042-329-7707

目 次

○	アドミッション・ポリシー	2
1.	募集人員	3
2.	出願資格	4
3.	標準修業年限	6
4.	出願手続	6
5.	『2.出願資格の(1)の⑧』により出願しようとする者の資格認定について	8
6.	受験に際して配慮を必要とする者の事前相談	9
7.	選抜方法等	10
8.	現職教員等に対する特例等	11
9.	合格者の発表	11
10.	入学手続	11
11.	諸経費	12
12.	留意事項	12
13.	入学試験成績の開示	12
14.	個人情報の取扱いについて	12
○	入学料及び授業料免除制度	13
○	日本学生支援機構奨学金の予約採用制度	13
□	出願書類（本学所定の用紙）	

○アドミッション・ポリシー(入学者の受入の方針)

【教職大学院（教育学研究科教育実践専門職高度化専攻）】

教育実践専門職高度化専攻（教職大学院）は、教科等の指導や現代的教育課題に対する取組において、教職員・保護者・地域の人々・専門家と協働して問題解決にあたることのできる高度な実践的指導力を備え、学校や地域の教育活動においてリーダーとなる教員（スクールリーダー）を養成することを目的とし、以下のような人々を求めている。

1. 教科等の専門的知識と基礎的な実践力，向上心を有する大学卒業予定者あるいは社会人で，高度な実践的指導力を備えたスクールリーダーを志す人
2. 学校における豊かな教育経験に裏付けられた専門的知識と実践力，現代的な教育課題に対して強い解決への意欲を有する現職教員で，高度な実践的指導力を備えたスクールリーダーを志す人

入学者選抜においては，教職大学院において学ぶ上で必要とされる実践力等を有しているかを判断するために，小論文，専門試験，面接，出願書類により総合的に評価を行う。

1. 募集人員

専攻	入学定員	プログラム	サブプログラム	募集人員
				・一般選抜 ・現職教員選抜
教育実践専門職 高度化専攻	210名	学校組織マネジメント (注1)		32名
		総合教育実践		
		教科領域指導	理科教育	
			音楽教育	
			幼児教育	
		特別支援教育高度化		
		教育プロジェクト	国際理解・多文化共生教育	
環境教育				
合計				32名

(1) 志願者は、志望するいずれか1つのプログラム・サブプログラムに限り出願することができます。

(2) 入学者選抜は、一般選抜、現職教員選抜のいずれかによります。

(注1) 学校組織マネジメントプログラムは、現在、教員として在職中の者（ただし、任期付き雇用の者又は入学後に退職予定の者を除く）のみ出願することができます。

2. 出願資格

基礎資格を有し、かつ、選抜区分ごとの出願要件を満たしている者

(1) 基礎資格

次の①から⑧のいずれかに該当する者

- ① 日本の大学を卒業した者又は平成 31 年 3 月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者又は平成 31 年 3 月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は平成 31 年 3 月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は平成 31 年 3 月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は平成 31 年 3 月までに修了見込みの者
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は平成 31 年 3 月までに修了見込みの者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号参照）
- ⑧ 本学大学院教育学研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成 31 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者

(注) 上記の資格⑧で出願しようとする者は、事前に個別の入学資格審査を受けなければならないので、8 頁の「5. 『2. 出願資格の(1)の⑧』により出願しようとする者の資格認定について」により申請書類を提出してください。

(2) 選抜区分ごとの対象者及び出願要件

選抜区分	対象者	出願要件
一般選抜	大学新卒者, 社会人等 (下記に該当する者を除く)	次の①又は②に該当する者 ① 教育職員免許法第4条第2項に定める普通免許状(1種)を有する者又は平成31年3月までに取得見込みの者 ② 教育職員免許法第4条第2項に定める普通免許状(2種)を有する者であって、初等中等教育において10年以上の教職経験(注1)を有する者又はそれに準ずる社会経験を有すると認められる者(注2)
現職教員選抜	現職教員又は教育関係諸機関に在職している者	次の①及び②に該当する者 ① 在職のまま入学を希望する常勤の者(ただし、任期付き雇用の者又は入学後に退職予定の者を除く)で、次のア又はイのいずれかに該当する者(注3) ア 学校教育法第1条に規定する学校の教員 イ 教育公務員特例法第2条に規定する教育公務員 ② 教育職員免許法第4条第2項に定める普通免許状(1種)を有する者 又は教育職員免許法第4条第2項に定める普通免許状(2種)を有する者であって初等中等教育において10年以上の教職経験(注1)を有する者

(注1) 一般選抜、現職教員選抜の出願資格において、経験年数の算出は、入学時点(平成31年4月1日現在)において、勤務形態が常勤又は常勤の職員と同等である非常勤の職にあった期間を指す。なお、1か月未満の期間がある場合は1か月に切り上げて算出する。休職した期間がある場合にはその期間を除く。

(注2) 一般選抜の出願資格において、初等中等教育における10年以上の教職経験に準ずる社会経験を有すると認められる者とは、教職大学院で学ぶ上で基礎となる10年以上の実務経験を有すると本学が認める者(例 保育士、看護師、保健師、助産師)を指す。

(注3) 現職教員には、大学院修学休業制度等により休業中(予定)の者を含む。

3. 標準修業年限

2 年

なお、現職教員選抜の志願者のうち「1 年履修プログラム」による履修を認められた者は、1 年で修了することができます。*

※ 11 頁の「8. 現職教員等に対する特例等」参照

4. 出願手続

(1) 選抜に係る出願書類等

	書類等の名称	提出該当者	摘 要
①	出願書類等提出明細票	全員	本学所定の用紙
②	入学願書	全員	本学所定の用紙
③	受験票・写真票	全員	本学所定の用紙
④	入学検定料(30,000 円) 入学検定料納入確認票 上記金額を改定することがあります。	全員	入学検定料を銀行等窓口で払い込みした場合は「入学検定料納入済票(大学提出用)」を、またコンビニエンスストアで払い込みした場合は「収納証明書」を入学検定料納入確認票の所定の欄に貼付すること。 ※詳細は、「(2) 入学検定料について」を参照
⑤	卒業(見込)証明書【学部】	全員	出身大学の学長又は学部長が作成したもの
⑥	成績証明書【学部】	全員	出身大学の学長又は学部長が作成したもの
⑦	教育職員免許状授与証明書 又は取得見込証明書	全員	都道府県教育委員会が発行する教育職員免許状授与証明書(教育職員免許状のコピーは受理しません。)又は出身大学が発行する取得見込証明書 (5 頁に記載の出願要件を満たすことが確認できる普通免許状(1種)にかかる証明書を提出すること)
⑧	面接調査書	全員	本学所定の用紙
⑨	課題研究計画書	全員	本学所定の用紙
⑩	教職に関する課題文	全員	本学所定の用紙
⑪	教育実践研究履歴申告書 (報告書等を含む)	現職教員選抜志願者	本学所定の様式 記入例を参照して作成すること。また、教育実践研究履歴のうち代表的な報告書等(原本又はコピー等)5点以内を提出すること。提出された報告書等は返還しない。
⑫	在職証明書	右欄摘要のとおり	本学所定の用紙 次のいずれかに該当する者は、所属長の作成したものを提出すること。 1. 一般選抜に出願する社会人等で、在職のまま本学大学院に入学しようとする者 2. 現職教員選抜志願者
⑬	戸籍抄本等	改姓した者	各証明書等と現在の姓が異なる場合は、改姓の事実が確認できる証明書等を提出してください。
⑭	名票	全員	本学所定の用紙
⑮	受験票送付用封筒	全員	長形3号の封筒を用意し郵便番号・住所・氏名を明記し 362 円分の切手を貼ること。
⑯	実務の状況に関する申立書	現職教員選抜志願者又は一般選抜の該当者	本学所定の用紙 「8. 現職職員等に対する特例等」を参照
⑰	入学後の実習に関する予備調査	一般選抜志願者	本学所定の様式
⑱	入学後の修学方法に関する予備調査	現職教員選抜志願者	本学所定の様式

(注) 1. 証明書類は原本を提出してください。証明書類の原本が提出できない場合は、入試課へお問い合わせください。

2. 出願資格(1)の②により出願する者は、学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書を提出してください。
3. 成績証明書について、4年間の大学教育を2つ以上の学校にまたがって終えた場合は、在籍した全ての学校について提出してください。
4. 在職証明書について、一般選抜及び現職教員選抜志願者で現職教員等に対する特例等を希望する者は、5年分以上の証明書(複数枚になる場合は在職証明書(本学所定の用紙)をコピーして使用すること)を提出してください。
5. 日本語又は英語以外の言語で作成された証明書には、日本語訳又は英語訳を必ず添付してください。
6. その他必要に応じて証明書等の提出を求める場合があります。

(2) 入学検定料について

① 次のいずれかの方法で入学検定料を納入してください。

(ア) 銀行等(ゆうちょ銀行は不可)窓口で支払う場合

- ・ 本学所定の入学検定料振込用紙(入学検定料振込依頼書)により、入学検定料 30,000 円を指定の口座に振り込んでください。なお、振込手数料は自己負担となります。
- ・ 必ず銀行等(ゆうちょ銀行は不可)の窓口で振り込み、ATM(現金自動預払機)は利用しないでください。
- ・ 振り込み後、「入学検定料納入済票(大学提出用)」(銀行等の収納印の無いものは無効とする)を必ず入学検定料納入確認票の所定の欄に貼付してください。

(イ) コンビニエンスストアで支払う場合

- ・ セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマートで入学検定料 30,000 円を支払うことができます。店内にある情報端末機を操作の上、必ずレジにてお支払いください。なお、振込手数料は自己負担となります。
- ・ コンビニエンスストアの店内にあるATM(現金自動預払機)は利用しないでください。
- ・ 振り込み後、コンビニエンスストアのレジから受け取る「収納証明書」を必ず入学検定料納入確認票の所定の欄に貼付してください。
- ・ 情報端末機の操作手順は、「入学検定料支払方法のご案内」を参照してください。

② 一旦納入した入学検定料は、次の場合を除き返還しません。

(ア) 出願書類が受理されなかった場合

(イ) 入学検定料を振り込んだが出願書類を提出しなかった場合

(ウ) 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合

※ 入学検定料の返還について

㊦ 上記(ア)に該当する場合

出願書類を返送する際に、入学検定料の返還請求手続き方法について同封するので、それにより返還請求手続きをしてください。

㊧ 上記(イ)又は(ウ)に該当する場合

速やかに本学経理課(TEL:042-329-7143)に連絡し、入学検定料の返還請求手続きをしてください。なお、連絡が無い場合や返還請求手続きが無い場合は、返還できないので注意してください。

※ 入学検定料の免除について

震災及び台風等(激甚災害指定)で被災した志願者に対して、入学検定料の免除措置を行います。

詳しくはウェブサイト(<http://www.u-gakugei.ac.jp/02nyushi/menjo.html>)をご覧ください。

(3) 出願方法等

① 出願は郵送に限ります。

志願者は、出願書類を一括して、角型2号の封筒に入れて、出願期間中に「書留速達」で送ってください。

なお、封筒の表にはこちら

《<http://www.u-gakugei.ac.jp/nyushi/upload/9862652716ec4106ce318c3616c0f392595dbb30.pdf>》

をプリンターからA4で出力したものを貼付して郵送してください。

- (注) 1. ①に添付する報告書等は別便でもかまいません。別便とした封筒には、必ず氏名を記入のうえ、「教職大学院 教育実践研究履歴申告書」と明記して、「東京学芸大学入試課あてに郵送してください」
2. 出願書類等に不備があり、連絡が取れない場合は出願書類を受理しません。
 3. 出願書類受理後は、記載事項の変更を認めません。また、受理した出願書類等は返還しません。
 4. 出願手続きに不正があった場合は、入学許可の後でもこれを取り消します。

② 出願期間（入学願書受付期間）

平成31年1月23日(水)～平成31年1月25日(金)

(1月25日以前の発信局消印のある書留速達に限り受理します)

(4) 受験票等の発送

「受験票」及び「受験者心得」は2月8日(金)に発送します。2月13日(水)までに届かない場合は、入試課まで問い合わせてください。

5. 『2. 出願資格の(1)の⑧』により出願しようとする者の資格認定について

本学大学院教育学研究科への入学資格審査を申請する者は、事前に入試課へ問い合わせのうえ、下記の書類①～⑥を一括して、申請期間中に東京学芸大学入試課あてに「書留速達」にて郵送(必着)してください。

申請期間

平成31年1月11日(金)～平成31年1月15日(火)

申請先 〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学入試課

書類等の名称	摘要
①入学資格審査申請書	本学所定の用紙(※) 取得免許状等諸資格については、証明書を添付すること。
②成績証明書及び卒業(見込)証明書	高等学校卒業後の学歴に関するものすべてを提出すること。 (出身学校の学校長、学長又は学部長が作成したもの)
③在職証明書(該当者のみ)	本学所定の用紙(※)
④教育研究歴・活動歴・学習歴申立書(該当者のみ)	教育研究歴、芸術・スポーツ・文化活動歴もしくは国際団体等での活動歴又は学習歴がある者は、本学所定の用紙(※)へ記入のうえ提出すること。 (教育研究歴、活動歴等がある者は、それを証明できる書類を提出のこと)
⑤教育研究業績等一覧	本学所定の用紙(※)に、教育研究業績、活動実績又は学習内容を記入のうえ、教育実践記録、口頭発表、研究論文、競技記録、発表記録、表彰等がある者は、その写しなど証明できるものを添付して提出すること。(業績等のない者もその旨を明記し、提出すること)
⑥返信用封筒	郵便番号・住所・氏名を明記し、362円分の切手を貼付した長3形封筒

なお、この他に必要に応じて証明書等の提出を求める場合があります。提出された書類等は返還しません。

入学資格の審査結果は、申請者に対し、1月末まで(予定)に文書により通知します。

※ 入学資格審査申請書等(本学所定の用紙)は、ウェブサイト上の用紙をプリントアウトして申請してください。

《<http://www.u-gakugei.ac.jp/nyushi/shushi/sikaku.html>》

問い合わせ先 東京学芸大学入試課
電話 042-329-7203 (平日9時～12時 13時～17時)

6. 受験に際して配慮を必要とする者の事前相談

- (1) 障がいがある等の理由で、受験上及び修学上配慮を必要とする者もしくは不安を感じる者は、出願に先立ち相談締切日までに事前相談申し出書(診断書等関係書類添付)を提出し、あらかじめ本学と相談のうえ出願してください。(なお、内容によっては対応に時間を要する場合もあるので、可能な限り早期に申し出てください)
- (2) 障がい等のある志願者が、選抜の際に不利に扱われることはありません。
- (3) 事前相談申し出書には次の内容を記載してください。(様式は問いません)
 - ①志望するプログラム・サブプログラム名
 - ②障がい等の種類・程度
 - ③受験上及び修学上配慮を必要とする事項
 - ④大学等でとられていた特別措置
 - ⑤日常生活の状況
 - ⑥その他参考となる事項
- (4) 相談締切日

平成31年1月15日(火)

- (5) 問い合わせ先 東京学芸大学入試課
〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1
電話 042-329-7203 (平日9時～12時, 13時～17時)

7. 選抜方法等

(1) 選抜方法

第2次募集においては、「面接試問」，「出願書類」により総合して行います。
なお、面接試問には専門的事項、実技が含まれることがあります。

(2) 合否判定基準

合否判定は、(1)で実施された結果を基に総合的に判定します。

大学院教育学研究科では、面接試問・出願書類の成績が本研究科の定めた得点基準に達していない場合、不合格とします。

(3) 配点

面接試問・出願書類 100点

(4) 面接試問の日程及び内容等

① 面接試問の日程及び内容

試験期日	試験時間	試験科目	対象となる選抜区分
平成31年 2月16日(土)	10:00～	面接試問	一般選抜・現職教員選抜

② 現職教員選抜の受験者、一般選抜の該当者には、面接試問終了後、引き続き、「実務経験によって実習8単位を修得したものとみなすことができる」かを判断するための面接を行います。

③ 面接試問等会場

東京学芸大学 (東京都小金井市貫井北町4-1-1)

※ 各自の試験室等は、試験前日午前10時に東京学芸大学の所定の掲示板に掲示します。ただし、試験室には入れません。

※ 試験当日は、正門から入構してください。

8. 現職教員等に対する特例等

(1) 実務経験による実習単位の一部免除について

教員として 5 年以上の勤務経験を有する者は^(※1)、審査^(※2)により実習（「教職専門実習」）10 単位のうち 8 単位を免除します。

- ※1 5 年以上の勤務経験とは、平成 31 年 4 月 1 日現在、通算して 5 年以上であることを指します。経験月数が 1 ヶ月未満の場合は、1 ヶ月に切り上げて計算します。非常勤講師や任期付き雇用の期間、休職（休業）期間は、経験年月数に参入しません。
なお、一般選抜の志願者については、平成 31 年 3 月末時点で教職を離職後 5 年以内の場合に限ります。
- ※2 審査は、「実務の状況に関する申立書」と、入学者選抜試験の面接試問後に実施する面接により行います。この審査は、入学選抜の可否には関係しません。

(2) 1 年履修プログラムの履修の可否について

「1 年履修プログラム」とは、現職教員選抜の志願者を対象として、主として教育実践等の実務の経験について審査し、また、上記(1)の「実習 8 単位免除」が認められることによって 1 年間の在籍で修了できるプログラムです。

常勤の現職教員として 5 年以上の勤務経験（上記(1) ※1 の経験年数の算出方法による）を有する者は、「1 年履修プログラム」の履修を希望することができます。

履修の可否の審査は、上記(1)の審査と併せて行います。

9. 合格者の発表

平成 31 年 3 月 7 日(木) 午前 10 時

東京学芸大学構内の所定の掲示板に掲示するとともに、合格者には合格通知書等を郵便で発表当日に発送します。

なお、電話等による問い合わせには一切応じません。

また、発表日から 5 日間に限り、本学ウェブサイト上で合格者受験番号一覧を掲載します。ただし、これは補助的なサービスなので、必ず、学内掲示板又は本学から郵送する合格通知書で確認してください。

教育学研究科入試情報<<<http://www.u-gakugei.ac.jp/nyushi/shushi/index.html>>>

10. 入学手続

所定の諸経費を納入し、郵送により必要書類を提出すること。

「書留郵便」により、平成 31 年 3 月 18 日(月)必着とする。

なお、期間内に入学手続きを完了しない者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

11. 諸経費

- (1) 入学料 282,000 円
- (2) 授業料 267,900 円（春学期分）
535,800 円（年額）

- (注) ① 入学料及び授業料は、改定することがあります。
② 一旦納入した入学料は返還しません。
③ 春学期分の授業料について、上記入学手続期間に納入しない場合は、平成 31 年 4 月 1 日から 4 月 30 日までの間に納入してください。
④ 授業料の納入については、希望により春学期分の納入の際に秋学期分も合わせて納入することができます。
⑤ 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
⑥ 授業料については、入学手続きを行った者が平成 31 年 3 月 31 日までに入学を辞退した場合には、納入した者の申し出により、当該授業料相当額を返還します。

12. 留意事項

- (1) 受験に関する照会は、照会の内容と、返信用封筒（定形）に自己の郵便番号・住所・氏名を明記し、362 円分の切手（速達）を貼ったものを同封のうえ、「東京学芸大学入試課」あてに送ってください。
- (2) 受験のための宿泊施設のあっせんは行いません。
- (3) この募集要項に記載されていることについて変更が生じたときは、必要に応じて出願者に通知等を行うことがあるので留意してください。
- (4) 試験当日に最寄りの駅から試験場周辺にかけて、勧誘や販売等をしている者がいることがありますが、それらの行為は、東京学芸大学とは全く関係ないので十分注意してください。不当な料金を請求される等のトラブルに巻き込まれても本学は一切責任を負いません。

13. 入学試験成績の開示

平成 31 年度入学者選抜試験の不合格者に対して、本人の請求に基づき各受験科目の得点を開示します。

- ① 請求期間・方法 平成 31 年 3 月（予定）・郵送（平成 31 年 3 月末(予定)の消印有効）
- ② 必要書類
 - ア. 開示請求書 本学所定の用紙（ウェブサイト上の用紙をプリントアウトして使用）
《<http://www.u-gakugei.ac.jp/nyushi/shushi/jouhou.html>》
平成 31 年 2 月中旬 掲載予定
 - イ. 受験票（本人確認のため）

14. 個人情報の取扱いについて

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人東京学芸大学の保有する個人情報の保護に関する規程」に基づいて取り扱います。

本学に提出する出願書類等に記載された個人情報は、入学者選抜及び合格通知並びに入学手続きを行うために利用します。また、個人情報は入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（奨学金申請等）及び授業料等に関する業務を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

○ 入学料及び授業料免除制度

<申請の資格要件（ウェブサイト及び申請要領も参照してください。）>

1. 入学料免除

- (1) 経済的理由により入学料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。
ただし、上記に該当しない者であっても、以下の条件に該当し、かつ、入学料の納入が困難であると認められる場合は、免除の対象となる場合があります。
- (2) 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者が死亡したとき。
- (3) 入学前1年以内において、本人又は本人の学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けたとき。

2. 入学料徴収猶予

入学料免除の上記資格要件(1)～(3)のいずれかに該当する者で、入学時に入学料の納入が困難な者。

3. 授業料免除等（*）

経済的理由により授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。

（*ただし、授業料免除等を希望する学期に休学をした者は、免除等の対象になりません。）

<申請受付期間>

平成31年3月18日（月）（必着）

<申請書類の入手方法>

入学料免除、入学料徴収猶予及び春学期授業料免除等を希望する場合は、本学のウェブサイトから専用のサイトにアクセスし、申請用紙等をプリントアウトして申請してください。

東京学芸大学ウェブサイト 学生生活について>授業料免除・授業料徴収猶予など
《<http://www.u-gakugei.ac.jp/05gakusei/>》

※本学のウェブサイトから入手が困難な場合は、以下連絡先にお問い合わせください。

連絡先 東京学芸大学 学生課 学生生活係（電話 042-329-7186）

<注意事項>

- ・ 入学料及び授業料を納入した場合は、入学料免除、入学料徴収猶予及び春学期授業料免除等の申請はできません。入学料の免除等申請をする者は入学料を、授業料の免除等申請をする者は授業料を、申請の結果が出るまで納入しないでください。
- ・ 入学料及び授業料の免除は、大学の予算の範囲内で行っていますので、所得が基準内であっても申請者数によっては免除されないことがあります。

○ 日本学生支援機構奨学金の予約採用制度

（詳細）日本学生支援機構ウェブサイト《<http://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/yoyaku/index.html>》

本学における『予約採用』制度は既に終了しております。奨学金貸与を希望する場合は入学直後の4月に申請する『在学採用』制度をご利用ください。

<参考>

	申請時期	初回振込時期
予約採用	書類配布：平成30年9月3日～ 申 込：平成30年10月中旬 結果通知：平成31年1月下旬	平成31年4月19日又は5月16日 ※進学届提出時期によって分かれます。

東京学芸大学ウェブサイト 学生生活について>奨学金・教職特待生制度
《<http://www.u-gakugei.ac.jp/scholarship/>》

出願書類等提出明細票

受験番号

※

志望する プログラム サブプログラム	プログラム	氏名	選抜区分 (該当に☑)	<input type="checkbox"/> 一般選抜 <input type="checkbox"/> 現職教員選抜
	サブプログラム	本人連絡先 (電話番号)		

出願する書類等は、必ず確認のうえ提出欄に○印又は必要事項を記入し、本票を上にして提出すること。なお、提出書類に不備がある場合には、受理しないことがあるので十分注意すること。（詳細は6頁参照）

	書類等の名称	提出欄	提出該当者	備 考
①	出願書類等提出明細票		全 員	
②	入学願書		全 員	
③	受験票・写真票		全 員	
④	入学検定料(30,000円) 入学検定料納入確認票		全 員	入学検定料を振り込み後、「入学検定料納入済票(大学提出用)」または「収納証明書」を入学検定料納入確認票の所定の欄に貼付すること。
⑤	卒業(見込)証明書【学部】		全 員	
⑥	成績証明書【学部】		全 員	
⑦	教育職員免許状授与証明書 又は取得見込証明書		全 員	教育職員免許状のコピーは受理しないので注意すること。
⑧	面接調査書		全 員	
⑨	課題研究計画書		全 員	
⑩	教職に関する課題文		全 員	
⑪	教育実践研究履歴申告書 (報告書等を含む)		現職教員選抜志願者	別便とする場合は、「提出欄」に「別便」と明記すること。
⑫	在職証明書		該当者	
⑬	戸籍抄本等		改姓した者	
⑭	名票		全 員	
⑮	受験票送付用封筒		全 員	長形3号の封筒を用意し郵便番号・住所・氏名を明記し362円分の切手を貼ること。
⑯	実務の状況に関する申立書		現職教員選抜志願者 又は一般選抜の 該当者	
⑰	入学後の実習に関する予備調査		一般選抜志願者	
⑱	入学後の修学方法に関する予備調査		現職教員選抜志願者	

受付1	※	月	日	担当:	受付2	※	月	日	担当:
-----	---	---	---	-----	-----	---	---	---	-----

※印欄は記入しないこと。

平成 31 年度
東京学芸大学教職大学院
(教育学研究科教育実践専門職高度化専攻)

(第2次募集)
入学願書

②

受験番号
※

志望する プログラム・ サブプログラム	プログラム サブプログラム (注) 学校組織マネジメントプログラムは、現在、教員として在職中の者に限る。		
選抜方法等 (該当に☑)	<input type="checkbox"/> 一般選抜		<input type="checkbox"/> 現職教員選抜
「実務経験による実習単 位の一部免除」希望の有無	教員として5年以上の勤務経験を有する者は該当に☑ <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	「1年履修プログラム」 希望の有無	現職教員選抜志願者は該当に☑ <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
フリガナ			写 真 (4×3寸) ① 上半身脱帽正面向 きで3か月以内に 撮影したものを使 用すること。 ② 受験票、写真票と 同じものであるこ と。
ローマ字氏名			
氏 名	(姓)	(名)	
生年月日・ 年齢・性別	昭和 平成 年 月 日生	H31.4.1 現在 (満 歳) 男・女	
出 願 資 格	基礎資格 (出身大学等) (4頁で自分の 出願資格が①～ ⑧のいずれにあ たるかを確認の 上、該当する欄に のみ記入すること)	出願資格 ① ③ ④ ⑤ 出願資格 ② 出願資格 ⑥ ⑦ 出願資格 ⑧	国立 公立 大学 学部 学科・課程 私立 昭和・平成 年 月 卒業・卒業見込 (東京学芸大学卒業(見込)者のみ記入) 類 選修・専攻 *大学卒業(見込)者は記入しないこと 学位授与年月日: 平成 年 月 日 最終学歴: 昭和・平成 年 月 卒業 本学入学資格認定年月日: 平成 年 月 日
	取得教員 免許状 (見込を含む)	種 類 (教 科)	取得年月(見込)
		幼稚園・養護教諭 種(級)免許状 () 年 月	
		学校 種(級)免許状 () 年 月	
	学校 種(級)免許状 () 年 月		
	学校 種(級)免許状 () 年 月		
現在(出願時) の身分等 (H31.3卒業見込 の者は記入不要)	教員・教育職員・研究職員・会社員・無職・その他 () 勤務先名 電話 (- -) 職種 () 常勤 ・ 非常勤 (週 時間) *現職教員選抜の志願者のみ記入 経験年月数 年 月 (平成31年3月末現在) *一般選抜志願者で在職証明書を提出しない者のみ記入 退職予定期日 年 月 (合格の場合の予定でも可)		
現住所 合格通知書等 受信場所	(〒 - -)		
連絡先電話番号	携帯電話 - -	固定電話 - - (現住所以外(実家等)も可)	

- ※印欄は、記入しないこと。
- 該当する事項を○で囲むこと。
- 受験票、写真票、名票の記入事項とくい違いのないようにすること。
- 次葉の記入上の注意をよく読むこと。

学 歴	出 身 校	在 学 期 間
		年 月 ～ 年 月
		年 月 ～ 年 月
		年 月 ～ 年 月
		年 月 ～ 年 月
		年 月 ～ 年 月
職 歴	勤務先・職種（常勤・非常勤の別）	在 職 期 間
	()	年 月 ～ 年 月
	()	年 月 ～ 年 月
	()	年 月 ～ 年 月
	()	年 月 ～ 年 月
	()	年 月 ～ 年 月
	()	年 月 ～ 年 月

〔記入上の注意〕

1. 「学歴」欄について

大学入学等から記入すること。高等学校卒業等以前は原則記入不要。ただし、外国において学校教育における16年の課程を修了した者は初等教育（小学校）、中等教育（中学校・高等学校）、高等教育（大学・大学院）において、在籍したすべての学校を記入すること。また、大学等での研究生等としての在籍がある場合には、その期間も記入すること。

2. 「職歴」欄について

勤務先・職種は、具体的に記入すること。例えば、〇〇市立〇〇〇小学校教諭など。また、()には常勤・非常勤の別を記入すること。任期付き常勤教員の場合は、“任期付き”と明記すること。

平成 31 年度東京学芸大学教職大学院
(教育学研究科教育実践高専門職度化専攻)

(第2次募集)
受験票

フリガナ		受験番号	
氏名		※	
生年月日・ 年齢・性別	昭和 平成 年 月 日	平成 31. 4. 1 現在 (満 歳) 男・女	写 真 (4×3 ㌢) ①上半身脱帽正面 向きで3か月以 内に撮影したも のを使用するこ と。 ②入学願書, 写真票 と同じものであ ること。
志望する プログラム・ サブプログラム	プログラム サブプログラム ※ 学校組織マネジメントプログラムは, 現在, 教員として在職中の者に限る。		
選抜方法等 (該当に☑)	<input type="checkbox"/> 一般選抜 <input type="checkbox"/> 現職教員選抜		
「実務経験による実習単 位の一部免除」希望の有無	教員として5年以上の勤務経験を有する者は該当に☑ <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	「1年履修プログラム」 希望の有無	

- 受験上の注意 1. 受験者は, 各試験開始 15 分前に各自の試験室に入室すること。
2. 受験票は, 机上に置き, 試験監督者の見やすいようにしておくこと。

この受験票は, 入学手続の際に使用するのでその時まで保管しておくこと。

-----切り取らないこと-----

平成 31 年度東京学芸大学教職大学院
(教育学研究科教育実践高専門職度化専攻)

(第2次募集)
写真票

フリガナ		受験番号	
氏名		※	
生年月日・ 年齢・性別	昭和 平成 年 月 日	平成 31. 4. 1 現在 (満 歳) 男・女	写 真 (4×3 ㌢) ①上半身脱帽正面 向きで3か月以 内に撮影したも のを使用するこ と。 ②入学願書, 受験票 と同じものであ ること。
志望する プログラム・ サブプログラム	プログラム サブプログラム ※ 学校組織マネジメントプログラムは, 現在, 教員として在職中の者に限る。		
選抜方法等 (該当に☑)	<input type="checkbox"/> 一般選抜 <input type="checkbox"/> 現職教員選抜		
「実務経験による実習単 位の一部免除」希望の有無	教員として5年以上の勤務経験を有する者は該当に☑ <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	「1年履修プログラム」 希望の有無	

平成31年度東京学芸大学教職大学院（教育学研究科教育実践専門職高度化専攻）
（第2次募集）

入学検定料納入確認票

受験番号
※

※印欄は記入しないこと。

フリガナ 氏名		志望する プログラム・ サブプログラム	プログラム サブプログラム
------------	--	---------------------------	------------------

入学検定料納入済票（銀行等で振込した場合）又は収納証明書（コンビニで収納した場合）を
枠内に貼付すること。

入学検定料支払方法のご案内

下記のコンビニ端末にてお支払いください

1 お申込み

セブン-イレブン マルチコピー機

<http://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。

TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



学び・教育
↓
入学検定料等支払

LAWSON Loppi **MINISTOP Loppi**

<http://www.lawson.co.jp> <http://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。

TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン
↓
学び・教育・各種検定試験
↓
大学・短大、専門、小・中・高校等お支払い

あなたも、コンビニに、**FamilyMart Famiポート**

<http://www.family.co.jp>

最寄りの「ファミリーマート」にある「Famiポート」へ。

TOP画面の「申込・請求(学び・教育)」よりお申込みください。



申込・請求
↓
学び・教育
↓
各種(入学検定料等)お支払いサービス

Kstation

<http://www.circleksunkus.jp>

最寄りの「サークルK・サンクス」にある「Kステーション」へ。

TOP画面の「学び・申込」よりお申込みください。



「学び・申込」
↓
各種(入学検定料等)のお支払い

東京学芸大学大学院 をタッチし、申込情報を入力して「払込票/申込券/受付票」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

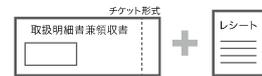
① コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi、Famiポート)または「受付票」(Kステーション)が出力されますので、30分以内にレジにてお支払いください。



② お支払い後、チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機、Kステーション)または「取扱明細書兼領収書」(Loppi、Famiポート)。

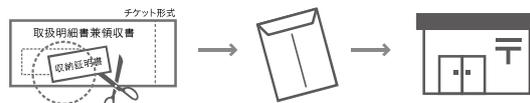


*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料	入学検定料が5万円未満	486円
	入学検定料が5万円以上	702円

3 出願

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、入試要項などの指示に従って郵送してください。



貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある欄は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

【入試に関するお問合わせ先】 東京学芸大学 (修士課程担当) TEL 042-329-7203 (受付時間) 月曜~金曜 9:00~17:00 *土日祝日を除く
【操作などのお問合わせ先】 学び・教育サポートセンター <https://e-apply.jp/> *コンビニ店頭ではお応えできません。

入学検定料振込用紙（入学検定料振込依頼書）

- ① の各欄に志願者本人の氏名等を記入してください。それ以外の欄は記入しないでください。
- ② 必ず銀行等（ゆうちょ銀行は不可）の窓口で振り込みの手続きをしてください。
A T M（現金自動預払機）は利用しないでください。
- ③ 「納入済票」及び「振込金（兼手数料）受取書」を銀行等の受付窓口から受け取る際には必ず収納印が押されていることを確認してください。
- ④ 「納入済票」は入学検定料納入確認票の所定欄に貼り付けて出願してください。
必ず銀行等の収納印の押された納入済票を貼り付けてください。

※振り込みの際は、この部分を切り離してから銀行等に提出してください。

<切り取り線>

国立大学法人東京学芸大学 入学検定料
振込金（兼手数料）受取書

年 月 日	
金 額	百万 千 円 ¥ 3 0 0 0 0
先方銀行	株式会社 三菱UFJ銀行本店
受取人	普通預金 7914380 国立大学法人東京学芸大学
ご(志願者)お名前	
ご(志願者)ご住所	
(備考)	手数料 円

*お名前は必ず志願者本人の氏名を記入してください。

取扱銀行等収納印

(取扱店→依頼人)

国立大学法人東京学芸大学
入学検定料
納入済票
(大学提出用)

金額	千 円 ¥ 3 0 0 0 0
志願者氏名	
取扱銀行等収納印	

*取扱店収納印の無いものは無効です。

入学検定料納入確認票の所定欄に貼付してください。

(取扱店→依頼人)

国立大学法人東京学芸大学 入学検定料
振込依頼書

	年 月 日	電 信 手 数 料	
依頼目	株式会社 三菱UFJ銀行本店	金 額	百万 千 円 ¥ 3 0 0 0 0
預金種目	普通預金 口座番号 7914380	現金	
受取人	国立大学法人東京学芸大学 東京都小金井市貫井北町 4-1-1	内 当手 枚	
		他手 枚	
ご依頼人(志願者)	お名前 (フリガナ)		
	TEL		
	ご住所		

*お名前は必ず志願者本人の氏名を記入してください。

(取扱店保管)

取扱銀行等収納印

面接調査書

受験番号 ※

東京学芸大学教職大学院 (教育学研究科教育実践専門職高度化専攻)

フリガナ		選抜区分 (該当する区分の □に✓を付すこと)	<input type="checkbox"/> 一般選抜 <input type="checkbox"/> 現職教員選抜
氏名			
生年月日 年齢・性別	年 月 日生 H31. 4. 1現在(満 歳) 男・女	出身大学等 卒業年月	国立 公立 私立 大学 学部 年 月 卒業(見込)
志望する プログラム・ サブプログラム	プログラム		サブプログラム
入学志願 理由 (動機・ねらい・希望する 進路などを具体的に記入)			
大学在学中 及びその後 に行った実 践・研究			
入学後研究・ 研鑽をつみた い事項			

- (注) 1. ※印欄は記入しないこと。
2. 次葉の特記事項も記入すること。

特記事項

特記事項 志願者がこれまでの学校教育に関わる経験や実践・研究の中で特筆すべき事項、部活や社会貢献活動（ボランティア）、自己PRしたい事項を記入すること。

備考（以下は記入しないこと。）

※

受験番号

※

教育実践研究履歴申告書

*この書類は、現職教員選抜の
志願者のみ提出のこと。

東京学芸大学教職大学院（教育学研究科教育実践専門職高度化専攻）

現任校名〔

〕

氏名〔

〕

- (1) 現任校等の教育課程における教科・領域等に関わった実務経験・研究業績
- (2) 校内外の教科・領域等を参観し講評やコメントを述べた実務経験・研究業績
- (3) 教材づくりやその指導・評価に関する実務経験・研究業績
- (4) 幼児・生徒指導や教育相談に関する実務経験・研究業績
- (5) 学級・学年経営に関する実務経験・研究業績
- (6) 校（園）務分掌の中で主幹教諭・主任教諭などの実務経験・研究業績
- (7) 特色ある学校園づくりや教員研修へ参画した実務経験・研究業績
- (8) その他、特筆すべき事実（社会・国際貢献に関わった実務経験・研究業績等）

(注) 1. ※印欄は記入しないこと。

2. 具体的な教育実践研究履歴の申告内容については、上記(1)～(8)の項目に関する、過去5年以内の具体的な事実（実践報告など著作物がある場合はその典拠）を記載してください。

3. A4判の用紙（横書き）を使用し、この様式にしたがってワープロ等により和文で(1)～(8)の項目ごとに、新しいものから順に沿ってまとめ、ホッチキスで留めてください。

4. 事実に相違することが判明したとき、合格を取り消すことがあります。

5. 記載事項がない場合は、該当する欄に「なし」と明記してください。

6. 教育実践研究履歴のうち代表的な報告書等（原本又はコピー等）5点以内を提出してください。提出したものについては、必ず○印をつけてください。なお、提出されたものは返還しません。

教育実践研究履歴申告書(記入例)

平成31年度(第2次募集)

①

受験番号

※

教育実践研究履歴申告書(記入例)

*この書類は、現職教員選抜の
志願者のみ提出のこと。

東京学芸大学教職大学院(教育学研究科教育実践専門職高度化専攻)

現任校名〔 〇〇県〇〇市立〇〇小学校 〕
氏名〔 〇〇 〇〇 〕

(1) 現任校等の教育課程における教科・領域等に関わった実務経験・研究業績

- 授業改善推進プラン「学力向上のための授業改善の研究」(2015年)
- ・ 校内研究「伝え合い理解し合う子ども」の研究推進委員長として授業推進(2014年)

(2) 校内外の教科・領域等を参観し講評やコメントを述べた実務経験・研究業績

- ・ 初任者研修生への授業参観と助言指導(2015年)
- 授業力向上をめざす公開授業研究会の参加報告書執筆(2014年)

(3) 教材づくりやその指導・評価に関する実務経験・研究業績

- ・ H市教育委員会定例訪問における校内研修会での研究授業(2015年)
- 平成24年度総合的な学習の時間「音の出る地図作り」の実践(『音楽教育研究』2014年9月号, ミュージック・フレンド社)

(4) 幼児・生徒指導や教育相談に関する実務経験・研究業績

- ・ 臨床心理士と小・中学校教員による「いじめに関する事例研究会」に参加(2014年)
- 青少年育成のための青少年地区対策委員会・警察署との連携による地域安全マップづくりの研究(2015年)

(5) 学級・学年経営に関する実務経験・研究業績

- ・ 企画委員として職員会議運営への参画(2015年)
- ・ 第3学年の学年主任として学級経営(2014年)

(6) 校(園)務分掌の中で主幹教諭・主任教諭などの実務経験・研究業績

- ・ 教務主任・主幹(平成27年度) ・ 学年主任(平成25,28年度)
- ・ 研究主任(平成25年度~28年度)

(7) 特色ある学校園づくりや教員研修へ参画した実務経験・研究業績

- 学校運営連絡協議会に参加し, 学級・学年経営の実践に関する説明・質疑応答(2015年)
- ・ 姉妹校「T県U市K小学校」との交流活動の企画・実施(2014年)

(8) その他, 特筆すべき事実(社会・国際貢献に関わった実務経験・研究業績等)

- ・ 市の人権カレンダーの共同執筆(2015年)
- ・ こどもエコクラブへの参加, エコプロダクツ展への引率指導(2014年)

(注) 1. ※印欄は記入しないこと。

2. 具体的な教育実践研究履歴の申告内容については, 上記(1)~(8)の項目に関する, 過去5年以内の具体的な事実(実践報告など著作物がある場合はその典拠)を記載してください。
3. A4判の用紙(横書き)を使用し, この様式にしたがってワープロ等により和文で(1)~(8)の項目ごとに, 新しいものから順に沿ってまとめ, ホッチキスで留めてください。
4. 事実に相違することが判明したとき, 合格を取り消すことがあります。
5. 記載事項がない場合は, 該当する欄に「なし」と明記してください。
6. 教育実践研究履歴のうち代表的な報告書等(原本又はコピー等)5点以内を提出してください。提出したのものについては, 必ず〇印をつけてください。なお, 提出されたものは返還しません。

在 職 証 明 書

受験番号

※

東京学芸大学教職大学院（教育学研究科教育実践専門職高度化専攻）

フリガナ 氏 名	男 ・ 女	志望する プログラム・ サブプログラム	プログラム サブプログラム
生年月日	昭和 平成	年 月 日生	
勤務先名	職 名		
職務内容 (できる限り詳しく 記入すること。)			
勤務形態	常 勤 非常勤 (週 時間)	在 職 期 間	～ 現在 年 月 日～ 年 月 日退職
休職又は 任期付き 期 間	(該当がない場合は余白に「なし」と記入) 年 月 日～ 年 月 日	経験年月数	※ 年 月
<p>上記のとおり相違ないことを証明します。</p> <p>平成 年 月 日</p> <p>住 所</p> <p>所属機関名</p> <p>所属長氏名</p> <p>公印</p>			

- (注) 1. ※印欄は記入しないこと。
2. 太枠内を志願者が記入し、他について所属長が記載する。なお、所属機関が複数にわたる場合は、本紙を必要枚数コピーし、所属機関ごとに作成すること。
3. 一般選抜の出願要件②又は現職教員選抜の出願要件②によって出願する者は出願要件を満たすことが確認できるように提出すること。(5頁参照)

名 票

志望する プログラム・ サブプログラム	プログラム サブプログラム
---------------------------	------------------

2019. 4. 1 現在

志望するプログラム・サブプログラム	フリガナ氏名	性別	小論文	専 門 科 目	年 齢	※ 備 考	※ 受 験 番 号
プログラム サブプログラム							

〈記入例〉(枠内に収まるように記入すること)

2019. 4. 1 現在

教科領域指導 国語教育	プログラム サブプログラム	ガクゲイ 学芸	タロウ 太郎	男			22
----------------	------------------	------------	-----------	---	--	--	----

住所 _____

氏名 _____

※

住所 _____

氏名 _____

※

1. 入学願書の記入上の注意に基づいて記入すること。(入学願書、受験票、写真票とくい違いのないよう記入すること)
2. 合格通知を受け取る際の住所、氏名、郵便番号を記入すること。(出願後住所変更した場合は、すみやかに届けること)
3. ※印欄は記入しないこと。

※

実務の状況に関する申立書

受験番号

※

東京学芸大学教職大学院（教育学研究科教育実践専門職高度化専攻）

1. 個別の実務の状況

- (注) 1. 評価基準 A:十分当てはまる B:当てはまる C:やや不十分 D:不十分
 2. すべての「実務領域と内容」について自己評価してください。
 3. 評価はA B C Dのいずれかを○で囲ってください。

実務領域と内容	評価
1 教育課程の編成及び実施	
・自らの授業等において、週ごとの教育計画等を作成し、それに基づいて授業を行っている	A B C D
・自らの授業において、時数や進度などの管理に努めている	A B C D
・授業等の計画において、学年や教科担当などと連携しながら進めている	A B C D
・学校園の教育目標や育てたい子ども像を念頭において自らの教育計画を立てている	A B C D
・教科等の年間指導計画や全体計画などの作成に関与している	A B C D
・分掌上の教務に係る職務において指導的な役割を果たしている	A B C D
・学習指導要領の趣旨や学校・教育委員会の教育課題を踏まえた教育課程の実施に努めている	A B C D
・地域や学校園の実態に応じた特色ある教育活動の創造に努めている	A B C D
2 教科等の実践的な指導方法	
・授業等を行う際、教材研究や幼児児童生徒理解に努めて行っている	A B C D
・授業等を行う際、指導方法や指導技術の工夫や改善に努めている	A B C D
・道徳教育・特別活動・総合的な学習の時間など教科以外の指導にも力を尽くしている	A B C D
・指導に対する評価を適切に行っている	A B C D
・少人数、習熟度別、TT等の様々な形態の授業実践の経験がある	A B C D
・学校園内の研修や地区研究会で、研究授業を進んで行っている	A B C D
・学習指導案の作成、年間指導計画の作成などについての若手教員への指導に努めている	A B C D
・教科等に係る研修会等に参加している	A B C D
3 生徒指導及び教育相談	
・日頃から幼児児童生徒理解に基づく子どもの対応を行っている	A B C D
・日頃から幼児児童生徒の進路指導（キャリア教育）の充実に努めている	A B C D
・幼児児童生徒の問題行動等に係る対応の実績はある	A B C D
・クラブ活動、部活動、地域活動・ボランティアなどに努めている	A B C D
・幼児児童生徒理解や生活指導・進路指導に係る研修会等に参加している	A B C D
・分掌上で生活指導や進路指導に係る職務の実績がある	A B C D
・健全育成に係る地域の取組み等に参加している	A B C D
・生活指導や進路指導、教育相談等について、若手教員への指導に努めている	A B C D

(次葉に続く)

(注) ※印欄は記入しないでください。

氏名

4 学級経営及び学校経営

・朝の会、ホームルーム、給食指導、清掃指導などを工夫して行っている	A B C D
・家庭や保護者との連携について綿密に行っている	A B C D
・学級経営や学年経営、教科経営を組織的かつ計画的に進めている	A B C D
・学級経営や家庭との連携などについて、若手教員への指導に努めている	A B C D
・学校園経営方針を視野に入れて教育活動や指導事務を行っている	A B C D
・分掌上の部会や委員会等において指導的な役割を果たしている	A B C D
・OJTを理解し、学校園内における人材育成に努めている	A B C D
・学校園運営改善のための評価（学校評価委員会、学校運営連絡協議会等）に関わっている	A B C D

5 学校教育と教員の在り方

・教育者としてのコンプライアンスを携えて教育活動や指導事務を進めている	A B C D
・組織の一員としての自覚をもって教育活動や教育事務にあたっている	A B C D
・教育者としての誇りや生き甲斐をもって教育にあたっている	A B C D
・様々な研修会等に参加するなど、絶えず自己研鑽に努めている	A B C D
・子どもや保護者、地域の方に信頼されている	A B C D
・同僚や上司から信頼され、指導的役割を果たすことが期待されている	A B C D
・自他のストレスマネジメントに配慮して職務にあたっている	A B C D
・若手教員や指導力に課題のある教員に対しても労を惜しまないで指導に当たっている	A B C D

以上の通り申し立てます。

平成 年 月 日

所属 _____

氏名 _____

(自署すること)

入学後の修学方法に関する予備調査

【現職教員選抜のみ提出】

東京学芸大学教職大学院に 2019 年 4 月に入学後は

(4つのうちいずれかに☑をお願いします)

- 1年履修プログラムで履修し、1年での修了を予定している。
- 1年目は休業によりフルタイム（平日昼夜間や土日の集中等）で履修し、2年目は現任校での勤務に戻り、夜間や土日等を利用して履修し（大学院設置基準第14条の特例）2年での修了を予定している
- 2年間の休業により、2年間ともフルタイムで履修し、2年での修了を予定している。（2年目も現任校での職務には復帰しない）
- 長期履修制度の申請を予定している。

受験番号：_____

氏 名：_____

速達

1 8 4 8 5 0 1

書留

(所要額
の切手)

東京都小金井市貫井北町四丁目一番一號

東京学芸大学 入試課 御中

書留速達

※以下に記載のうえ、角2封筒に貼付し書留速達にて郵送すること

専攻名	教育実践専門職高度化専攻（教職大学院）（第2次募集）
-----	----------------------------

志望する プログラム・ サブプログラム	プログラム	サブプログラム
---------------------------	-------	---------

選抜区分	一般選抜	現職教員選抜
	(希望する選抜区分を○で囲む)	

差出人	住所	
	志願者氏名	

(願書提出用封筒)

受付1	※	月	日	担当：	受付2	※	月	日	担当：
-----	---	---	---	-----	-----	---	---	---	-----